

# MHRの推進

## 1 「MHR」とは自己有用感を感得させ、自尊感情を育成する活動

### MHR

## Meiho Heart-warming Relationship

心をひらき 心を通わせ もっと自分が好きになる もっとみんなが好きになる

## 2 「MHRカリキュラム」の推進

### (1) 「MHRカリキュラム」の作成と実行

自己理解力・他者理解力を育成するために、全教育活動でMHRを推進していくにあたり、「各教科等における学び方」と月ごとの「関連する学習内容や活動」が一覧できる「MHRカリキュラム」を作成する。このカリキュラムを基にして全ての教科や領域、特別活動、部活動等について、年間を見通してMHRを推進し、持続可能な社会の創り手を育成する。

### (2) 相互に認め合うリレーションづくり

学校行事等の活動の際は、事前指導と事後指導にMHRの視点を取り入れ、全校で共通した振り返りを行う。振り返りシートは、教室に掲示するだけでなく、全校生徒が目にすることができるよう生徒玄関前の「MHRホール」にも掲示し、お互いの成長を確認できる。

### (3) 「MHRホール」の活用

学活の振り返りや学校行事の写真を掲示したり、生徒会活動の情報発信の空間づくりとして掲示物を展示したりしている。また、美術の授業で制作した作品、表彰、優勝旗などを展示し、来校した方々にも広く発信している。

### (4) 「MHRノート」の活用

個々のMHRや自己理解・他者理解に関わる振り返りを蓄積していく。また、年間の学校行事の振り返りや毎日の生活の振り返りなど、全ての振り返りが一冊のノートに集約できるようにする。他にも定期テストの計画や振り返り、長期休業の生活設計や振り返り、アウトメディアの記録、道徳の時間の振り返りなども残せるようにする。

### (5) 兄弟学級で活動する「バディー活動」の推進

体育祭ではバディー対抗種目を競技に取り入れ、事前にバディーで練習する時間を設定し、3年生が主体となって下学年をリードする活動を行う。閉会式終了後には、バディーで振り返る時間を設け、これまでの取組や活躍などを振り返ることができるようにする。合唱祭でもバディークラスで練習する時間を設けたり、合唱祭終了後にバディークラスで振り返る時間を設定し、MHRを実感できるようにする。

### (6) MHRな学び合い「スキルアップタイム」を実施

学級・全教職員による全校体制で、学習活動におけるMHRな関わり合いの基盤となる「話す・聴く・考える」のスキルアップに取り組んでいく。また、タブレット端末の使い方についてのスキルアップも全校体制で行っていく。

### (7) 「MHR推進委員会」の活動

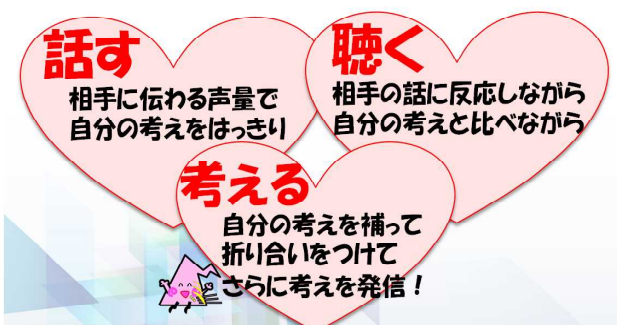
令和4年度から生活委員会と安全委員会の活動内容を継承した「MHR推進委員会」がスタートした。生徒主体のMHRが展開されるよう指導・支援していく。

### (8) ふるさと横手を意識したMHRな諸活動

地域に開かれ、家庭・地域と共にある学校に在籍する明峰生として、SDGsの視点を生かした取組を進める。地域クリーンアップへの参加、学校祭での発信、職場体験、地域への学習成果の展示など、地域と共にある学校づくりを進める。

### (9) 授業でのMHRな学び合い

「伝えようとする発表」「受け入れようとする聴き方」による話し合い活動の活性化を展開する。その関わり合いから生まれた考えを再確認して発信する学び合いを「MHRな学び合い」として授業実践する。



MHRな学び合い